



Twitterを越えるポテンシャル！？

中国SNSを日本企業はどう活用していくか

5億ユーザーを抱える中国ソーシャルメディアの実態と対策

『中国SNS活用セミナー』2013.4.22 開催

中国SNSに特化したWebマーケティングを行う、QualityTime Consulting株式会社（クオリティタイム・コンサルティング、本社：東京都港区、代表取締役社長：清水 文也）は、国内企業のための中国SNS活用セミナーを、2013年4月22日（月）に東京青山にて開催いたします。

5億超のユーザー数を誇る急成長中の中国SNS市場。先日もパナソニックチャイナのファン数が5万人を突破し話題となった中国最大級SNS「新浪微博（シナウェイボー）」には、現在300社を超える日本企業が公式アカウントを開設しています。今後も国内企業の新たな中国市場への進出や、中国からの留学生や旅行客の誘致策としても、中国SNSを活用した手法にますます期待が寄せられています。

しかし中国ソーシャルメディアの実態はまだまだ掴みにくく、実際にどのような話題がやりとりされており、どうやって活用したらよいかわからない、という声が多く聞かれます。




当社では、複数の中国ソーシャルメディアを組み合わせた、業界初の中国SNSプロモーション代行サービス（※1）を提供しています。当セミナーではWEBメディア「中国ビジネスヘッドライン」寄稿中の専門家が、中国SNSの最新動向から実際のSNSの活用法まで最新事例を交えて解説いたします。

●ジャスティン・ビーバーを超える4,385万人がフォロー

「シナウェイボー」で現在最もフォロワーが多いのは、中国人女優のヤオ・チェン（<http://weibo.com/yaochen>）で、そのフォロワー数はなんと4,385万人を超えます。これは、Twitterのフォロワー数世界1位のジャスティン・ビーバーの3,687万人と比べても、その影響力が高いことが分かります。（2013年3月時点のフォロワー数）

【中国の主要SNSとその特徴】

FacebookやTwitterといったSNSがアクセス規制されている中国では、独自のSNSが発展。現在では中国版Twitterと呼ばれる140文字以内でつぶやく、ミニブログ形式のウェイボーが主流となっており、総アカウント数は5億を超えとも言われています。ウェイボーの中でもユーザー数が最も多いのが新浪社が運営する「新浪微博（weibo／シナウェイボー）」です。その他、中国版Facebookと呼ばれる「人人網（renren／レンレンワン）」や、中国版Lineと呼ばれる「微信（wechat／ウィーチャット）」などのSNSが会員数を延ばしています。

| 名称 | 類似サービス | ユーザー数 | ユーザー層 |
|--|--------------------|-------|--------------------------------------|
| 新浪微博（weibo／シナウェイボー） http://weibo.com/  | Twitter タイムライン型 | 約4億人 | 男女比5:5 約9割が10～30代 大学生また大卒者が50% |
| 人人網（renren／レンレンワン） http://www.renren.com/  | Facebook ブログ型 | 約2億人 | 約7割が20代 大学生の利用率95% |
| 微信（wechat／ウィーチャット） http://weixin.qq.com/  | Line チャット型 | 約4億人 | 男女比6:4 76%が20代 |

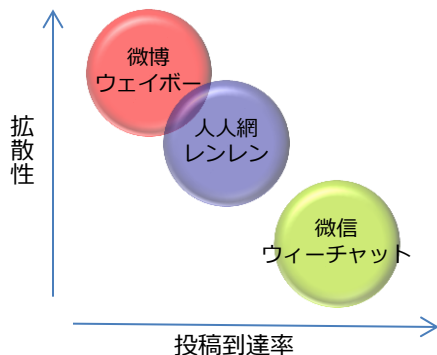
（※1）当社ではこの3種の中国SNSを組み合わせた業界初のプロモーションを2013年3月より提供しています。

●中国のソーシャルメディアは使い分けが重要

中国では日本と同様複数のSNSが存在していますが、SNSごとにそれぞれ異なるユーザー層と利用方法がなされていることをご存知でしょうか。日本企業が活用するには、日中の文化の違いやSNSごとのユーザー傾向を理解したうえで、それぞれのSNSをうまく使い分けことが、プロモーションの成否を分ける重要ポイントとなります。

●拡散性も高いウェイボー

当社で実際に「シナウェイボー」を使い、日本の「腐女子」に関しての投稿をしてみたところ、わずか数時間でリツイート数1万回を突破。話題ランキングの25位に急上昇したという例もありました。ウェイボーの1日の話題数が2億件以上という中で、ひとたび話題となると爆発的效果をもたらすという、ウェイボーの特徴が垣間見えた一例です。



<三大SNSの特徴>

◆**微博（ウェイボー）** ※日本版Twitter
非匿名性で拡散性が高い
タイムライン形式

◆**人人網（レンレンワン）** ※日本版Facebook
大学生の利用率が95%にも及ぶ
アクティブユーザ層が明確でターゲティングしやすい

◆**微信（ウィーチャット）** ※日本版Line
プッシュ式で発信情報が確実に届く
チャット形式なので情報拡散は期待できない

【セミナー概要】

中国の最新SNS情報及び活用術をご紹介します。

結局SNSは使えるのか？数あるSNSの中から何を選択すればいいのか？

PRからリクルーティングまで、最新事例を交えてご紹介いたします。

日時：2013年4月22日(月) 18:30～20:00(18:15開場)

会場：DFビル5F 大会議室

東京都港区南青山2-2-8

(銀座線・半蔵門線・都営大江戸線より5番出口を出て、外苑東通りを西麻布方面に歩いて約2分)

定員：先着30名(同業者の方はお断りさせていただく場合がございます)

申込み方法は下記にございます。

費用：無料

◆セミナー内容

1. 中国インターネットの現在
2. 流行しているSNSの特徴と実例
3. 中国SNSの活用事例・可能性
4. SNSに価値を加えるにはどうすべきか
5. 質疑応答

※ご希望の方に「個別相談」を実施いたします。

◆お申込み方法

j.murata@qtc.co.jp に件名に「セミナー参加」、本文に「人数・参加者全員のお名前」を記入した上でお送りください。追ってご案内メールをお送りいたします。

<こんな方にオススメです>

1. 中国人に来てもらいたい観光業界の方
2. 中国人に買いに来てもらいたい小売業界・ECサイトの方
3. 中国人のリクルーティングを行いたい方
4. 中国でビジネスを成功させるために市場調査・ブランディングを低コストで行いたい方

◆セミナー講師



●範 華(ハン カ)

QualityTime Consulting株式会社 中国メディア統括マネージャー
中国杭州出身。中国国内の大学においてECを学んだ後、ビジネスの神髄を学ぶため、日本においてMBAを取得。MBA課程に在学中、(株)ソーシャルリクルーティングにおいて、中国SNSを駆使した現地学生の採用活動を先駆けて取り組み、日本の大手企業に内定者を輩出する。

現在、QualityTime Consulting inc.において中国メディア統括マネージャーとして、日本企業の中国PRの支援を行っている。

『中国ビジネスヘッドライン』に寄稿中

<http://www.chinabusiness-headline.com/author/hanka/>



●村田 翔(ムラタ ジョウ)

QualityTime Consulting株式会社 セールスマネージャー
大学卒業後、留学生受け入れ企業の先駆けである(株)ローソンにおいて、店舗でのリアルなマネジメントを学んだ後、マネジメント理論を構築するため、MBAを取得。MBA課程に在学中、中国国民の日本への関心の高さを中国SNSを通して感じ、現在、QualityTime Consulting inc.においてセールスマネージャーとして、日本企業に中国SNSを用いた中国PR支援を行っている。

<会社概要>

| | |
|------|---|
| 会社名 | QualityTime Consulting株式会社 |
| 代表 | 代表取締役社長【CEO】 清水 文也 |
| 設立 | 2006年12月 |
| 資本金 | 1,150万円 |
| 住所 | 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル6F |
| 電話番号 | 03-5468-7581 |
| FAX | 03-5468-7177 |
| URL | http://www.qtc.co.jp |
| 事業内容 | インターネット・サービス ビジネスプロセスマネジメント 情報システムコンサルティング |

当社では、2013年3月より中国の主要SNS3種を組み合わせた業界初のプロモーションを提供しています。今後は中国消費者向けの日本情報発信サイトや、国内企業に対しての中国ショッピングサイト「淘宝（タオバオ）」などへの販売代行サービスなどを展開していき、国内企業の中国進出をサポートしていく予定です。

※報道関係者の方へ中国SNSに関してのデータ提供やコメント提供も可能です。お気軽にお問合せください。

当リリースに記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

【サービスやセミナーに関してのお問合せ先】

QualityTime Consulting株式会社
TEL : 03-5468-7581

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

QualityTime Consulting株式会社 広報担当：村田 翔
TEL:03-5468-7581 FAX : 03-5468-7177
E-mail : j.murata@qtc.co.jp